

【議事要旨】第4回 AI ロボティクスに関する関係府省連絡会議幹事会

1 日時

令和8年4月27日（月） 11:00～12:00

2 場所

内閣府合同庁舎8号館8階共用特別中会議室

3 出席者

<議長>

西山 英将 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）

<副議長>

石曾根 智昭 経済産業省製造産業局産業機械課ロボット政策室長

<主査>

岡部 涉 内閣官房日本成長戦略本部事務局参事官

菅田 洋一 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官

<構成員>

神崎 忠彦 内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）

瀧山 幸千夫 （代理）内閣府政策統括官（防災担当）付参事官

（政策調整担当）付 参事官補佐

塚田 裕介 （代理）内閣府政策統括官（防災担当）付参事官

（防災デジタル・物資支援担当）付参事官補佐

阿波 拓洋 警察庁生活安全局生活安全企画課長

（代理）こども家庭庁長官官房総務課サイバーセキュリティ・情報化企画官

市原 剛俊 消防庁総務課技術戦略室長

千葉 周平 文部科学省研究振興局基礎・基盤研究課長

和泉 誠人 厚生労働省医政局医事課医師等医療従事者働き方改革推進室長

磯谷 桂太郎 （代理）社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課課長補佐

村中 秀行 厚生労働省老健局高齢者支援課介護業務効率化・生産性向上推進室長

（代理）農林水産省大臣官房政策課技術政策室課長補佐

光廣 政男 （代理）経済産業省大臣官房産業保安・安全 G 産業保安企画室調整官

山瀬 敦子 経済産業省製造産業局製造産業戦略企画室長

荒川 洋 経済産業省商務・サービス G 流通政策課長兼物流企画室長

平林 孝之 （代理）経済産業省商務・サービス G 医療・福祉機器産業室室長補佐

出戸 浩朗 （代理）国土交通省大臣官房参事官（イノベーション）G 施工自動化企画官

林 健一 国土交通省総合政策局技術政策課技術開発推進室長

杉本 留三 環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課長

（代理）防衛装備庁技術戦略部技術戦略課 AI 技術室長

<オブザーバー>

大西 祥浩 （代理）総務省国際戦略局技術政策課技術革新研究官

<事務局>

奥家 敏和 経済産業省大臣官房審議官（商務情報政策局担当）

渡辺 琢也 経済産業省商務情報政策局情報産業課 AI 産業戦略室長

<関係者>

森田 正敏 警察庁長官官房技術企画課長
大塚 裕一 農林水産省大臣官房新事業・食品産業部食品製造課
原材料調達・品質管理改善室長
前田 亮 国土交通省住宅局住宅生産課長
氏原 拓 復興庁福島国際研究教育機構室参事官

4 議事要旨

○開会

○議事

・ AI ロボティクス戦略実装ロードマップの改定について

出席者から、AI ロボティクス戦略の実装ロードマップの改定について発言がなされた。主な発言は以下の通り。

- ・ 製造・物流・建設等の産業分野では、人手不足と高コストを背景に、AMR等の活用や工程間搬送、清掃・点検といった周辺タスクからロボット導入を進める必要があることが共有された。特に中小事業者向けには、価格支援に加え、ティーチングや運用支援を含めた導入支援が重要とされた。
- ・ 警備・警察・災害対応分野では、巡回やパトロール等の定型業務からの導入を起点としつつ、有事対応や危険作業への展開が期待される一方、安全性確保、認証・運用ルール、現場実証を通じた段階的導入の必要性が指摘された。
- ・ 農業分野では、収穫作業について、短期は主要品目対応、中長期は多品目対応を目指す方向性が示された。林業分野では、巡視・資材運搬についての共通課題が整理された。
- ・ 小売・宿泊・介護分野では、人手不足が深刻である一方、事業規模や収益性の制約から導入負担が大きく、プライバシー配慮、制度対応、通信・システム連携基盤の整備が課題とされた。介護分野では、データ活用と普及支援を両立させる必要性が強調された。
- ・ 造船・廃棄物処理・防衛分野では、AI・ロボットと人の協働を前提とした安全対策、責任関係、サイバー・防火対応等の制度整理が必要とされ、分野横断・デュアルユースの観点での技術開発と関係省庁連携の重要性が示された。

本日の議論を踏まえ、導入可能な領域から速やかに実装を進めるため、次回幹事会までに各分野において施策案の整理を整理の上、実装ロードマップの改定を進めるべきとの認識が共有された。

○閉会